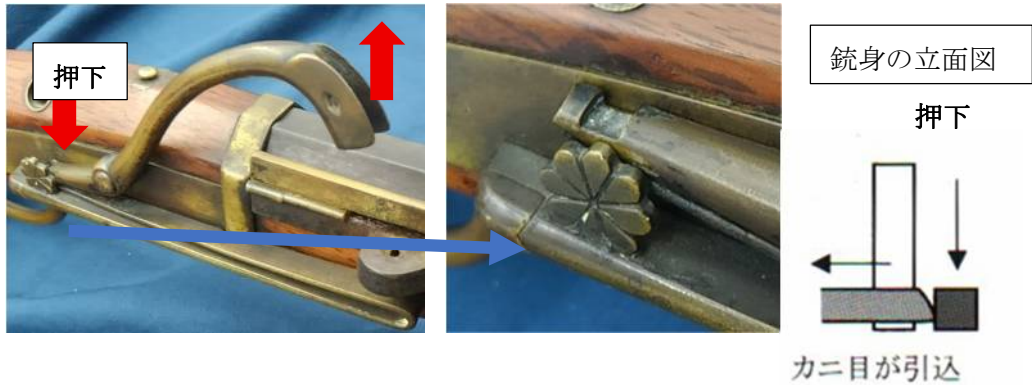


2. 火縄装着から引き金までのパーツの挙動 ～「火ばさみを起こす動作」から「ロック状態」開放まで～

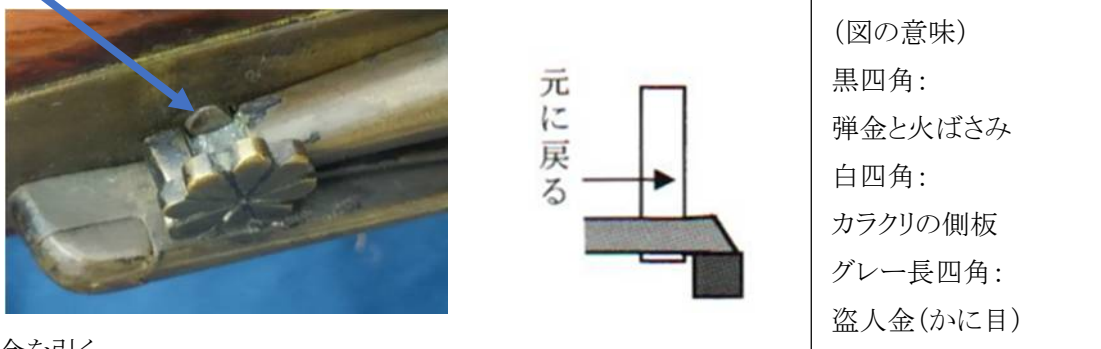
①火ばさみを起こす

火ばさみを起こすと、連動して弾金(板バネ)が押下されます。その時、かに目が内側に押し込まれます。



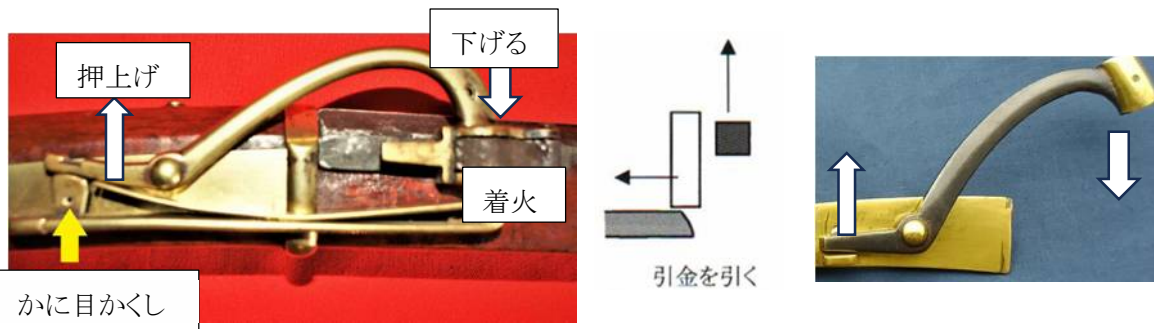
②かに目によってロック

火ばさみを押し上げると、「押え」によって「盗人金」が押され、かに目が元の位置に戻ります。



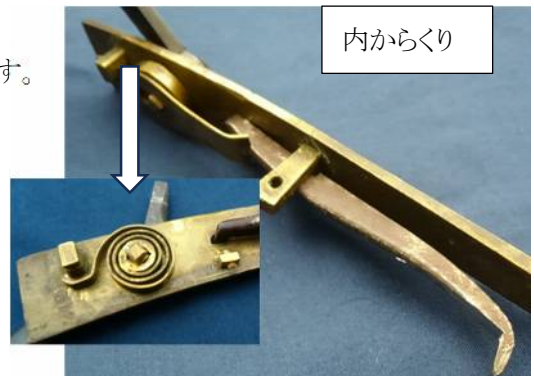
③引き金を引く

引き金を引くと、弾金を押さえていた「かに目」が引込み、弾金が開放され反発し、「火ばさみ」の末端部が押し上げられることにより、装着された火縄が「火蓋」に装填された火薬に接し着火します。



*「外カラクリ」の構造については、YouTube で「火縄銃男子」というハンドルネームの方が実物の火縄銃を分解しつつ紹介しています。これを見ると、より理解できると思います。

*右写真は、「内カラクリ」の例です。ゼンマイバネを内部に組み込み、火ばさみの軸をバネの力で回転させる方式です。「火ばさみ」のロック方法は、「外カラクリ」と同じ仕組みです。「弾金」が「ゼンマイバネ」に置き換わった形です。



以上